

# IDOBATA報告



平成25年2月23日(土)開催

今年のボランティア井戸端会議は、ボランティアによるウクレレ・オカリナ生演奏とボランティアによる手づくりお菓子を用意し、約40名のボランティアに参加いただきました。

今回は、ボランティア同士のヨコのつながりを作っていただくだけでなく、新しい仲間を増やすためにどんな工夫をすればなかが増えるのか、について話し合うグループトークを中心としました。活動分野を問わないグループに分かれたことで、皆さんの活動経験や得意分野の話がはずみ盛り上がりました。

## グループトーク1 こんなことで困ってる・悩んでる

活動の中で困っていることや悩んでいることを共有しながら、講座・企画のご意見をいただきました。

### ◆発表で寄せられたご意見◆

サークル同士のコラボ/発表の場がほしい/宅老所でこれまで作ってきたメニューを集めて共有する/後継者不足/金銭面のサポート/社協は活動を見守っていてほしい/団体間でサポートしあおう!



## グループトーク2 新しい仲間を増やそう!

新しい仲間を増やすアイデアを皆で考えました。

高齢者の居場所作りに関わる意見が多く、より近くで気軽にできる活動を望む声がたくさん寄せられました。

### ◆発表で寄せられたご意見◆

高齢者がかけられるきっかけを作りたい/情報発信できる場がほしい/エコキャップ・ベルマークなどを近所で集める事ができれば/「いきいき広場」は遠い!近くに高齢者の居場所があればいいな/趣味で認知症予防をしたい



### ◆参加者の感想◆

もっと活動の場を広げたい!

出会いがあり、活動の発信もできた!

横のつながりができてよかった!

色々なボランティアを知る事ができた!

### ◆当日の様子◆



①ウクレレサークルBREEZEの演奏でスタート  
♪衣装がとてもステキです



②おやつクッキーはボランティアの手作りで、  
大人気でした



③オカリナ・ハートの優しい音色が響きます

今年は、個人ボランティアの参加もあり、また新たな出会いが広がりました。ボランティア同士のヨコのつながり、は、みんなで地域を支える大きな力です! 活動の幅をさらに広げたり、新しい取り組みのきっかけにもなります。皆さんからいただいたご意見は、ボランティアセンター運営事業に反映させるよう努めてまいります! 今年度も開催予定です。ぜひご参加ください★



## ボランティア活動で元気をもらっています!

今回は、地域で活動している65歳以上のボランティアを紹介します。

活動内容や活動をはじめたきっかけは皆さん様々です。長年の活動で地域に貢献されている方、「いきいき健康マイレージ」を活用して新しく活動を始めた方、特技を生かして地域デビューされた方、などご自身にあったスタイルで、ボランティア活動を楽しんでいる皆さんです!

### ボランティアグループ／新生明るい社会づくり高浜

長年、春日神社での清掃活動を続けてきました。

昨年からは、いきいき健康マイレージの通帳を持って「東海児童センター」の草とり作業をはじめました。

職員の方が普段なかなか手の届かない部分をの草とりをしたところ、「すごくきれいになった!!」と喜びの声をいただきました。

人目につく活動ではありませんが、自分たちのまちをきれいな状態を維持しつづけることで、多くの方に喜んでいただけるので、やりがいを感じています。



### いきいき健康マイレージ／福祉ボランティア 神谷 正海さん

昨年10月から月2回、授産所高浜安立（向山町六丁目）の日中一時支援「絵画教室」で、利用者の方に楽しく絵を教えています。

また、2月に刈谷市美術館で開催した私の個展に、授産所安立の利用者さんの作品を展示しました。

自分の特技を使って、新たな出会いができたこと、若い人たちに喜んでもらえていることがとても嬉しいです。



表紙の方

### 個人ボランティア／板倉 ふじ恵さん

宅老所「じい&ばあ」（青木町四丁目）で手づくりの伊勢型紙を使った影絵紙芝居を披露しました。

この活動をはじめたきっかけは、脳梗塞のリハビリとして伊勢型紙を勧められたことが始まりです。

これまでは他市で披露してきましたが、知人から高浜でもぜひ披露してほしいとボランティアセンターを紹介され、今回の活動につながりました。

宅老所の方にも喜んでいただけたので、これから自分のペースに合わせて、活動できればと思っています。



ボランティア  
コーディネーターの  
ひと言

表紙の写真は、3月6日「じい&ばあ」の様子です。宅老所は、介護予防拠点施設として、利用者を楽しみひとときを過ごしてもらおうと、様々なボランティアのご協力によって運営されており、この日は板倉さんに紙芝居3話をご披露いただきました。

光に照らされ浮かび上がる伊勢型紙はとても幻想的でした。板倉さんの優しい語り口にも引き込まれ、「よかった」「子どもの頃にもどったようだ」との声があがっていました。今後、高浜でもぜひご活躍いただきたいと思います。（野中）

